

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
11月	699	590	563	54	1	1,907	1,133	37	243	160	110	938	4,528
12月	954	773	633	147	5	2,512	1,730	43	188	172	104	737	5,486
累計	9,374	6,759	7,008	1,290	47	24,478	11,014	379	1,978	1,712	1,013	8,290	48,864

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

📁 今月のレファレンス記録票から

分類	質問	内容
----	----	----

I/Q3 関東大震災時の市川市内の被害を調べている。特に1923年当時が開校していた学校の周年記念誌などの資料に震災の記載がないか探したいが閲覧できる場所はあるか。

関東大震災時の市川市内の被害については、『市川市史 第3巻近代』（市川市史編纂委員会／編集 市川市 1975）p.269-280「関東大震災」の項に市川市の被災状況の記載あり。『大正大震災の回顧と其の復興 下巻』（千葉県罹災救護会 1933）には南行徳町(p.844-846)、行徳町(p.846-850)、中山町(p.869-872)、大柏村(p.873-874)、国分村(p.883-890)、八幡町(p.890-891)、市川町(p.892-900)の各町村の被災状況等が「各郡の震災事情」の項に詳しく記載あり。

また、『市川市史 第3巻近代』p.590-591によれば、1923年当時開校していた小学校は8校あった。当館で所蔵している小学校の記念誌を調査したところ、『創立85周年記念誌』（市川小学校 1959）p.16、『行徳 市川市立行徳小学校創立百年記念誌』（行徳小学校百年記念委員会／編 1973）p.17、『中山小学校百年史』（中山小学校創立百周年記念事業実行委員会／編集 1982）p.30-31、『国分 創立百拾周年記念誌』（創立百拾周年記念誌編集委員会／編集 1983）p.48-49、の4校の記念誌では簡単にはあるが震災に触れている記載があった。八幡小学校、大柏小学校、南行徳小学校の3校の記念誌は所蔵しているが震災の記載はなし。信篤小学校の記念誌は市内の図書館に所蔵なし。所蔵している記念誌は中央図書館で閲覧可能。

350.9 19世紀後半から現在までの世界の主要大国の国民所得（GNP または GNI）のデータの載っている資料はないか。

所蔵資料と館内で閲覧可能な国立国会図書館デジタルコレクション図書館送信参加館公開（以下「国会デジタル」と記載）で確認できたデータは以下の通り。

- 1929-1951年 『世界統計年鑑 1952』（国際連合統計部／編 東京教育研究所 1953）p.406-407
 - 1929-1966年 『世界統計年鑑』1952年版から1967年版 国会デジタル
 - 1945-1982年 『国際統計要覧 第1回 1951年版』（総理府統計局／編 大蔵省印刷局 1951）から『国際統計要覧 1985年版』（総務庁統計局／編 大蔵省印刷局 1985）まで 国会デジタル
 - 1960-1974年 『世界統計年鑑 23集(1971)』（国際連合統計局／編 原書房 1972）p.560-561 『世界統計年鑑 27集(1975)』（同 1976）p.654-655
 - 1985-1989年 『国際統計要覧 1991』（総務庁統計局／編 大蔵省印刷局 1991）p.186、『国際統計要覧 1992/93』（総務庁統計局／編 大蔵省印刷局 1992）p.179-180
 - 2014-2017年 『世界の統計 2020』（総務省統計局／編 日本統計協会 2020）p.68-69
- 他に経済協力開発機構（OECD）主要統計の国民総所得(Gross national income) (<http://data.oecd.org/natincome/gross-national-income.htm> 2020.03.25 確認)には1960年から2018年のデータが掲載されている。

19世紀後半からのデータが掲載された資料を確認することはできなかったが、当館所蔵の『マクミラン新編世界歴史統計』（ブライアン・R.ミッチェル／編著 東葉書林 2001）に一部の国でNNP(国民純生産)を国民所得とみなして19世紀のデータが掲載されている。但し同書1巻p.781には「19世紀中頃よりもさらに前の時期に遡って利用できるような財政の統計をもつ国がいかにか少ないかは特筆に値する。(中略)一般には、国家財政についての一貫した、そしてある程度豊富な情報が使えるようになるのは、さまざまな議会制的な体制が、租税に対するある種の統制権を確立してからのことである」といって差支えないであろう。」と記載されている。

773.9 令和の天皇即位の礼の行事の中で、歌舞伎・狂言・文楽の競演で演じられた演目とその内容が知りたい。

インターネットで‘即位 歌舞伎 狂言 文楽’で検索。時事通信社のニュースサイト時事ドットコムニュース (<https://www.jiji.com/jc/article?k=2019102300983&g=pol> 2020.02.26 確認)によると2019年10月23日夜に行われた即位正殿の儀に参列した外国賓客らを招いた内閣総理大臣主催晩餐会で、歌舞伎・狂言・文楽の競演があった。首相官邸ホームページの「内閣総理大臣夫妻主催晩餐会における文化行事について」(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gis_hikitou_iinkai/dai5/siryoku5-1.pdf 2020.2.26 確認)に「成立の時代が異なる狂言、歌舞伎、文楽の3種別で、同一演目を共演。演目は「三番叟(さんばそう)」。演者は野村萬斎氏[狂言]、市川海老蔵氏[歌舞伎]、吉田玉男氏[文楽]とあり、演者の経歴等も記載あり。「三番叟」については五穀豊穡を祈り舞う演目。新年や祝賀の会など儀礼的な場で行われるとの紹介あり。

953 サン=テグジュペリがモスクワについて書いた文章を探している。

国立国会図書館サーチで‘サンテグジュペリ’‘モスクワ’で検索し『サン=テグジュペリ著作集6 人生に意味を』(サン=テグジュペリ／著 みすず書房 1962)に「モスクワ」のルポルタージュがあることを確認。これは国立国会図書館デジタルコレクション図書館送信参加館で公開されており当館内で閲覧可能。また「人生に意味を」は当館所蔵資料にも収録されていることを確認。『サン=テグジュペリ著作集3 人生に意味を』(サン=テグジュペリ／著 みすず書房 1987) p.31-75に「ルポルタージュ モスクワ」の章あり。

他にもこんな質問ありました (クイック・レファレンスから)

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、濫著など
288.4	現在の皇族の誕生日が載っている資料はないか。	⇒『皇室事典 制度と歴史』(皇室事典編集委員会／編著 KADOKAWA 2019) p.544-545に「令和の皇室の構成」あり。また宮内庁ホームページ (https://www.kunaicho.go.jp/about/ 2020.3.25 確認)に皇族の構成図とご略歴あり。
767.8	昔の流行歌で「ああモンテルパの夜は更けて」の歌詞の載っている本を探している。	⇒所蔵検索より『思い出の愛唱歌』(野ばら社編集部・久保昭二／編 野ばら社 2015) p.349、流行歌の本の索引より『ジャンボ日本の詩情』(阿部徳二郎・今井巖／編著 全音楽譜出版 1990) p.353、『日本流行歌史 戦後編』(古茂田信男他／著 社会思想社 1980) p.182 等を紹介。

TOPICS GDPとGNI (GNP)

GDP (Gross Domestic Product) = “国内”総生産は国内で一定期間内に生産されたモノやサービスの付加価値の合計額。“国内”のため、日本企業が海外支店等で生産したモノやサービスの付加価値は含みません。GNP (Gross National Product) = “国民”総生産は“国民”のため、国内に限らず、日本企業の海外支店等の所得も含んでいます。以前は日本の景気を測る指標として、主としてGNPが用いられていましたが、現在は国内の景気をより正確に反映する指標としてGDPが重視されています。※1993SNAの導入に伴い、GNPの概念はなくなり、同様の概念として“GNI (Gross National Income) = 国民総所得”が新たに導入されました。

参考：内閣府 HP(<https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/otoiwase/faq/qa14.html> 2020.5.11 確認)